

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

				基準年月日	令和5年8月1日							
調書番号	08-09	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課長 上前 孝之							
				担当係	河川計画係（内）29-323							
I 基本事項（基準日時点）												
事業種別	大規模特定河川事業費、広域河川改修事業費（社会資本整備総合交付金）											
ふりがな 地区名	富良野川	市町村名	富良野市・上富良野町・中富良野町	総事業費	91,849 百万円							
負担割合	国	66.7%	道	33.3%	市町村	その他						
	61,233 百万円		30,616 百万円		百万円							
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●富良野川は、石狩川水系空知川に合流する一級河川で、S28年(1953年)より富良野川の河川改修事業に着手。 ●その後も、S36年(1961年)7月、S41年(1966年)8月の洪水により、流域全体で家屋浸水など多大な被害が発生した。 ●このため、S46年(1971年)に改修計画の見直しを行い、支川を含めた河川改修事業に着手。 ●また、H23年(2011年)9月の洪水によりエバナマエホロカンベツ川において浸水被害が発生したため、H27年(2015年)に江幌別別川及びエバナマエホロカンベツ川の改修に着手。 ●堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、富良野市日の出町地区、上富良野町錦町地区、中富良野町新町地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。 											
	【アウトカム】等 <ul style="list-style-type: none"> ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 4,719戸→0戸 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 6,247ha→0ha 											
事業概要	富良野川は、空知川合流点から21.6kmの区間、支川ペベルイ川は富良野川合流点から10.1kmの区間、その他の10支川を含む合計65.8kmの区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量 Q=1,400m ³ /s（支川ペベルイ川Q=650m ³ /s）	(百万円)	(百万円)	(百万円)						
			計画延長 L=65,800m	前回評価	今回評価	増減額						
			築堤工 L=109,500m	20,983	22,194	1,211						
			掘削工 L=65,800m	10,032	14,572	4,540						
			護岸工 L=150,276m	24,560	24,849	289						
			附帯工事									
			道路橋190橋、JR橋6橋等	14,649	14,899	250						
			測量設計費 調査・設計	6,613	6,796	183						
			用地補償費 用地買収・物件補償	8,539	8,539	0						
			計	85,376	91,849	6,473						
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	生活・安心	中項目	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	小項目	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	施策名	大規模自然災害対策の推進（強靱化）			
特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 （河川改修等の治水対策） 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。										
	関連する指標	-										
II 公共事業評価経過 (単位：百万円)												
事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)	
	事前評価又は当初	S28(1953)	S28(1953)	H30(2018)			70	67,046	22,125			
	前回再評価	S28(1953)	S28(1953)	H30(2018)			H41(2029)	85,376	28,459		67,806	79%
	今回評価			R5(2023)			R21(2039)	91,849	30,616	831	74,111	81%
変更理由・内容(概要)	(1) ヌッカクシ富良野川分水路において地下水低下対策工の追加による増額 (2) 富良野川、東八線川、ヌッカクシ富良野川、ペベルイ川において掘削残土の搬出先変更に伴う運搬距離の増による増額 (3) 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額 (4) 残事業区間の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸											
III 事業採択前の状況												
1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ● S41年(1966年)8月 浸水被害発生（浸水面積2,528ha、浸水家屋2,271戸） ※富良野川、ペベルイ川、コルコニウシベツ川、ホロベツナイ川、テボツナイ川 ● S50年(1975年)8月 浸水被害発生（浸水面積2,029ha、浸水家屋2,158戸） ※富良野川、ペベルイ川、コルコニウシベツ川、ヌッカクシ富良野川 ● S56年(1981年)8月 浸水被害発生（浸水面積2,365ha、浸水家屋781戸） ※ペベルイ川、コルコニウシベツ川、ヌッカクシ富良野川、ホロベツナイ川 ● H13年(2001年)9月 浸水被害発生（浸水面積140ha、浸水家屋2戸） ※ホロベツナイ川 ● H23年(2011年)9月 浸水被害発生（浸水面積14ha） ※ヌッカクシ富良野川、エバナマエホロカンベツ川 											
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ● S28年(1953年)4月 富良野川本川の改修事業に着手 ● S46年(1971年)4月 ペベルイ川などの支川を含めた流域全体の改修事業に着手 ● H10年(1998年) ヌッカクシ富良野川放水路事業促進期成会の結成 ● H12年(2000年) テボツナイ川改修促進期成会の結成 ● H18年(2006年) コルコニウシベツ川改修促進期成会の結成 ● H27年(2015年)4月 江幌別別川およびエバナマエホロカンベツ川の改修事業に着手 											
3. 事業効果を見込める地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 富良野市日の出町地区、上富良野町錦町地区、中富良野町新町地区などの市街地及び農地 氾濫防止面積6,566ha（うち農地6,247ha）、浸水防止家屋4,719戸 											

事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容
4. 関連する事業				

IV 事業の実施状況

(1) 事業実績及び今後の計画												
施工(工種)区分	工事内容	S28	~	H30	R1	R2	R5	R6	~	R21	進捗状況	事業費(百万円)
築堤工	L=109,500m	←		L=8,084m	←	→	←	L=31,416m	→		47%	22,194
掘削工	L=65,800m	←		L=22,711m	←	→	←	L=43,089m	→		81%	14,572
護岸工	L=150,276m	←		L=78,259m	←	→	←	L=72,017m	→		94%	24,849
附帯工事	道路橋190橋、JR橋6橋等	←		道路橋153橋、JR橋6橋等	←	→	←	道路橋37橋等	→		93%	14,899
測量設計費	調査・設計	←			←	→	←		→		93%	6,796
用地補償費	用地買収・物件補償	←			←	→	←		→		98%	8,539

(2) 進捗状況

シブケウシ川、北一号川、ヌッカクシ富良野川分水路は完成断面による整備、富良野川、ハベルイ川、ヌッカクシ富良野川は暫定整備が完了しており、現在は富良野川、ハベルイ川、ヌッカクシ富良野川、東八線川の整備、テボツナイ川、コルコニウシベツ川、江幌完別川、エバナマエホロカンベツ川は暫定断面により整備を促進している。残事業量を踏まえて事業期間の見直しを行っているものの、今後は順調に進捗していく見込みである。

b

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
項目	R5現在	項目	R5現在	<ul style="list-style-type: none"> ●「治水経済マニュアル(案)」(国土交通省R2(2020))に基づき算出 ●効果及び費用はR5(2023)に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出 ●効果は、洪水氾濫における直接被害額(家屋、公共土木施設、農地等)及び間接被害額(営業停止被害等)により年平均被害軽減期待額を算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
洪水被害防止効果	1,418,663	建設費	392,672	
		維持管理費	265	
合計(B)	1,418,663	合計(C)	392,937	
B/C	前回算定年度 : H30年度(2018年度)【再評価】 前回算定時B/C : 1.10(合計(B)312,421 (C)283,247) 変更理由 :			
R5現在	・事業費の増額に伴う費用の増加 ・完了予定年度の延伸に伴う効果及び維持管理費の増加 ・治水経済マニュアルの改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加 ・効果及び費用をR5(2023)に現在価値化したことなどによる。			
3.61				

取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
施工の最適化	工事で発生するコンクリート殻を護岸の中詰材へ再利用	41
施工の最適化	掘削残土を事業地区内で有効利用	20
施工の最適化	現地採取の表土を護岸などの覆土へ利用	78

V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は、富良野市日の出町地区、上富良野町錦町地区、中富良野町新町地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。 ● 事業着手後もH23年(2011年)9月(浸水面積14ha)、H28年(2016年)8月(浸水面積259ha)などの浸水被害が発生。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。 				
a	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。				
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 現況河道を極力生かした河道法線や河床高としている。 ● 植生の早期復元を図るため、護岸に現地採取の表土による覆土を実施している。 ※直近の評価以降における状況変化はない。				
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向 <ul style="list-style-type: none"> ● 富良野市、上富良野町、中富良野町等から事業の早期完成に向けて要望が出されている。 ※直近の評価以降における状況変化はない。				
	(3) その他の課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 特になし ※直近の評価以降における状況変化はない。				
3. 事業達成の見込み	事業期間が長期に及びものの、現状では特に大きな支障となるものではなく、事業は順調に進捗していく見込みである。				
a	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。				
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和21年度の完成を目指し、事業継続する。				
a	a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止				
事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価： 再評価：平成30（2018）年度評価 評価結果：継続（変更なし） B/C=1.10
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

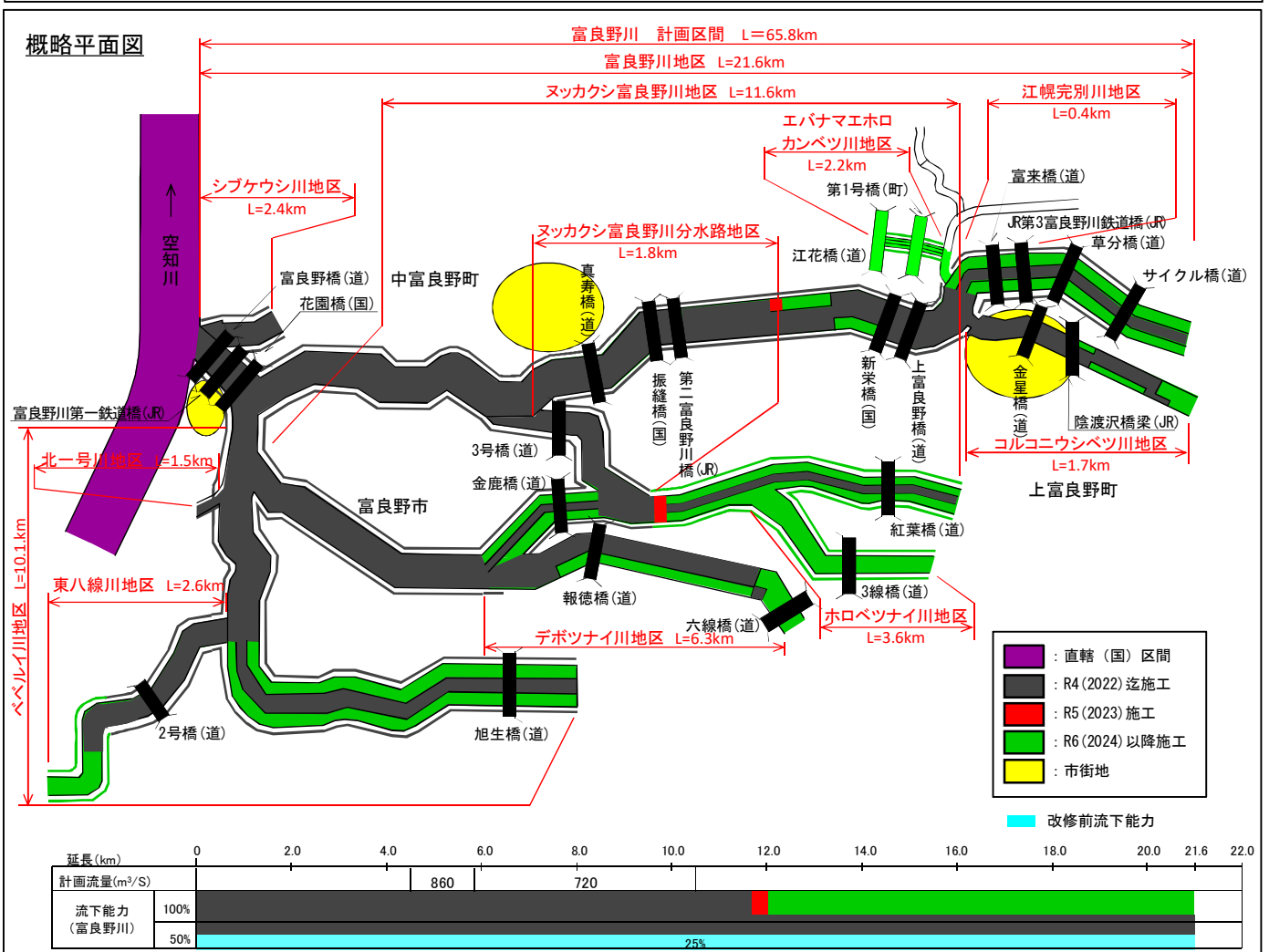
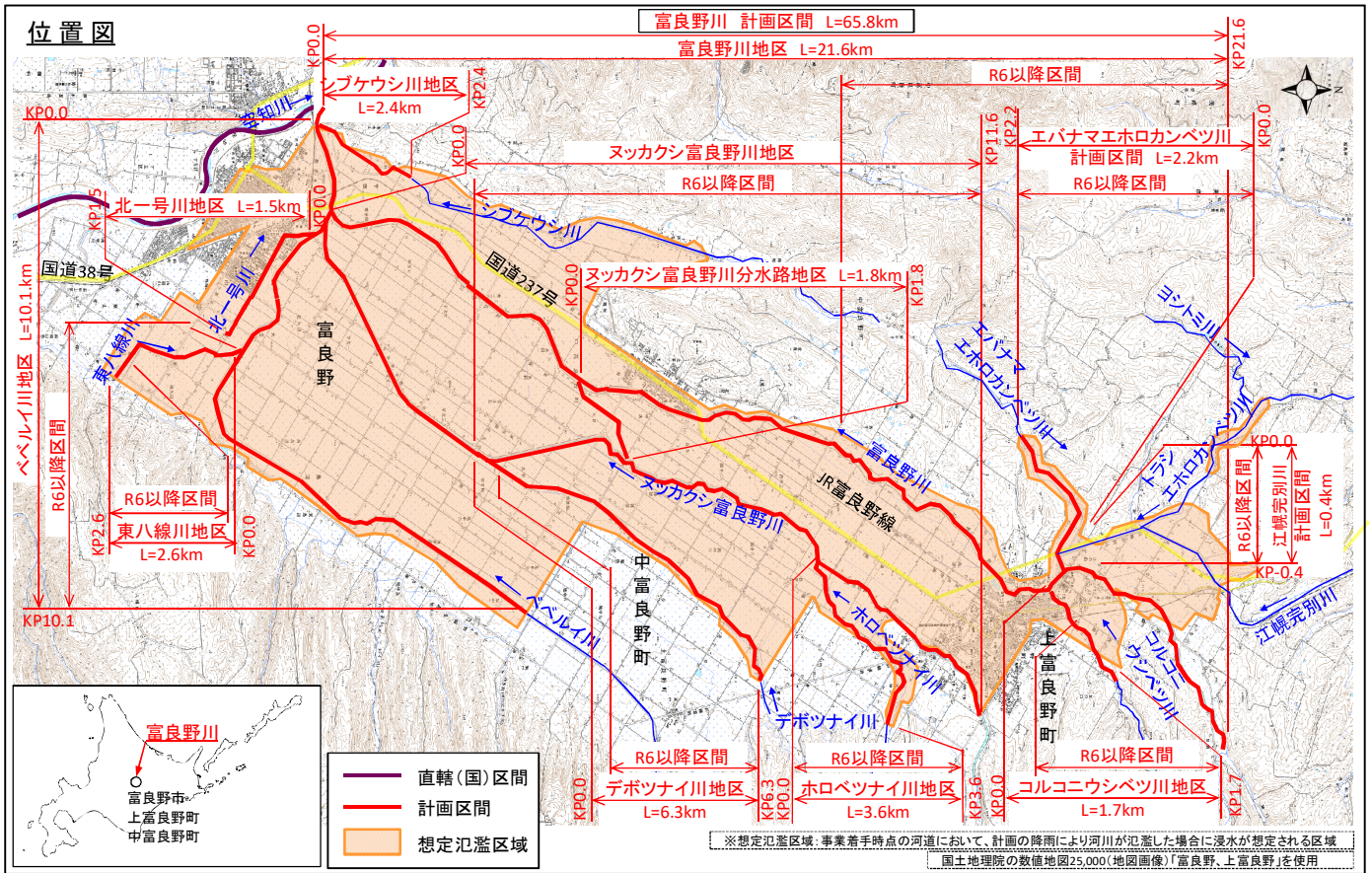
補足資料

VII 事業計画変更

（単位：百万円）

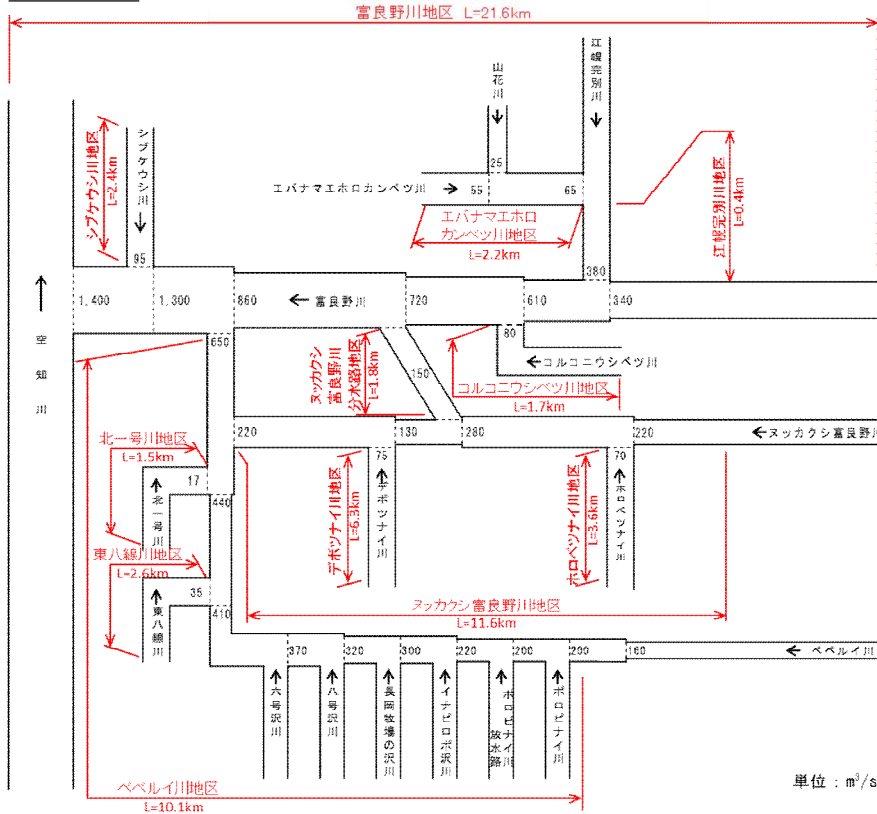
事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度事 業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		S28 (1951)	S28 (1951)			H30 (2018)	70	67,046			
変更①	1回目			H15 (2003)	H15 (2003)	H30 (2018)		66,646			
変更②	2回目			H20 (2008)	H20 (2008)	H37 (2025)		73,986			
変更③	3回目			H25 (2013)	H25 (2013)	H40 (2028)		78,255			
変更④					H27 (2015)	H41 (2029)		79,235			
変更⑤	4回目			H30 (2018)	H30 (2018)	H41 (2029)		85,376			
変更⑥					R2 (2020)	R11 (2029)		85,816			
変更⑦	5回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R21 (2039)		91,849	831	74,111	81%
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容		変更①：総事業費の変更 ・事業費精査による減額 変更②：事業期間・総事業費の変更 ・ヌッカクシ富良野川分水路、テボツナイ川の軟弱地盤対策及び護岸工の増工による増額 ・富良野川地区、ペベルイ川、東八線川、ヌッカクシ富良野川分水路の掘削残土の運搬距離の増などによる増額 ・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸 変更③：事業期間・総事業費の変更 ・ヌッカクシ富良野川分水路、テボツナイ川の止水対策の増、ペベルイ川、東八線川の河岸侵食防止のための護岸工の増工などによる増額 ・富良野川地区の事業損失防止調査の増工などによる増額 ・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸 変更④：事業期間・総事業費の変更 ・江幌先別川およびエバナマエホロカンベツ川を改修区間に追加したことによる増額 ・事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる増額 変更⑤：総事業費の変更 ・危機管理型ハード対策としての堤防天端舗装を追加したことによる増額 ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額 変更⑥：総事業費の変更 ・ヌッカクシ富良野川分水路において地下水低下対策追加による増額 変更⑦：事業期間・総事業費の変更 ・富良野川、東八線川、ヌッカクシ富良野川、ペベルイ川において掘削残土の搬出先変更に伴う運搬距離の増による増額 ・資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額 ・残事業区間の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸									

事業名	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	富良野川	採択年度	S28 (1953)
-----	--	-----	------	------	---------------



事業名	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	富良野川	採択年度	S28 (1953)
-----	--	-----	------	------	---------------

流量配分図

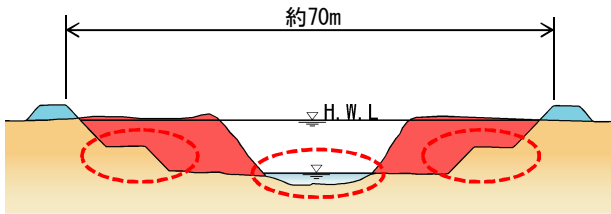


富良野市街地 (平成28年8月)

計画諸元

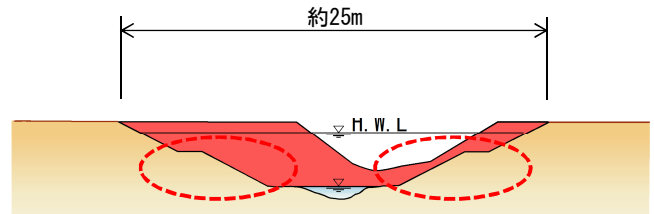
河川名	富良野川	シブケウシ川	ベベルイ川	北一号川	東八線川	ヌッカクシ 富良野川	デボツナイ川	ヌッカクシ 富良野川 分水路	ホルベツナイ川	コルコ ウシベツ川	江幌別別川	エハナマ エホロシベツ川
流域面積(km ²)	373.9	18.8	129.5	2.7	5.6	126.9	19.8	0.0	11.4	10.9	54.1	10.8
計画延長(km)	21.6	2.4	10.1	1.5	2.6	11.6	6.3	1.8	3.6	1.7	0.4	2.2
氾濫面積(ha)	6,566											
計画雨量	178(mm/24hr)											
計画高水流量(m ³ /s)	1400	95	650	17	35	220	75	150	70	80	380	65
計画勾配	1/1200 ~1/56	1/680	1/902~ 1/472	1/1000~ 1/434	1/800~ 1/400	1/902~ 1/200	1/500~ 1/200	1/2257	1/226~ 1/78	1/245~ 1/100	1/570	1/380~ 1/190

標準断面図 (富良野川)
空知川合流点から約5.0km地点



- ・現況河道を極力生かした河道法線や河床高としている。
- ・植生の早期復元を図るため、護岸に現地採取の表土による覆土を実施している。

標準断面図 (デボツナイ川)
ヌッカクシ富良野川合流点から
約1.5km地点



- ・植生の早期復元を図るため、護岸に現地採取の表土による覆土を実施している。